

残堀川河川整備計画縦覧において提出された意見書への対応(基本的な考え方)

全体に係るもの

| 整理番号 | 意見 | 基本的な考え方 |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 子供から大人まで、釣りをしたり魚をとったりできる本格的な小川にしてほしい。見た目だけの親水性はいらない。 | p15に記載したとおり、護岸整備を行う区間では緩傾斜護岸・階段護岸など水辺へ近づける整備を実施します。整備済みの区間においても、可能な範囲で緩傾斜護岸・階段護岸の整備を目指していきます。しかしながら、時間雨量50ミリの降雨に対し安全な河道の確保を目標としているため、本格的な小川にすることは困難です。 |
| 2 | カワセミの営巣、ホタルの復元に配慮した護岸方法の採用を要望する。 渇水時でも水生生物やカルガモ等が生息できるような施設の設置、護岸コンクリート壁の緑化対策を要望する。 | 原案には記載しませんでした。河床への不透水層の設置を行う場合には、可能な範囲で瀬、淵などの設置による河川の直線化を防止するよう対策をとること追記します。また、コンクリートブロック護岸を直ちに作り変えることは困難ですが、改修にあたっては地域の人々に親しまれる河川空間の確保を目指して参ります。 |
| 3 | 常に水の流れる残堀川を復活して欲しい。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |
| 4 | 野火止用水で行われているような汚水処理水等の利用も実行してほしい。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |
| 5 | 伏流対策工は具体的にどうするのか。「瀬切れ」では川とはいえない。 | 伏流対策工とは、瀬切れが起こって水量が枯渇する区間の河床に、不透水層(粘土質の土)を張りつけることです。 |
| 6 | むき出しのブロック状の護岸はやめて、なんとしても通年で水が流れている - 小魚などがいつでも現れる、水鳥がいる川を求める。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |
| 7 | 20年間とは長い(長すぎる)計画。行政の責任の取りようがない計画となるのでは。 | 計画対象期間は、多摩川の河川整備計画と整合をとり20~30年としました。P12にあるとおり、社会的、自然的状況の変化に応じて計画の見直しを行います。 |
| 8 | 今の残堀川は川ではなく排水路、雨が降らないとまともに水が流れない。夏は水路に高々と雑草が生い茂り、見るも無残な姿である。初夏にはカルガモのヒナが生まれるが、小さな水たまりを見つけて泳いでいる姿はとても見てられない。そんな状態なので市民の川への愛着度は低く、立川寄りの下流の子供たちは、たまに水が流れると「あれ、残堀川に水が流れてるよ」と大笑いの種になっていた。 伏流対策は大事だが、それ以上に減少した水量の確保の方が大切である。上・中流の水源、水脈の確保、それが不可能なら立川の根川のように下水処理水の導入などを検討してはどうか。常に安定した水を供給できなければ、伏流対策だけでは水の流れは取り戻せないと思う。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |
| 9 | 最近、川にゴミの不法投棄が目立つので何か対策をお願いしたい。 | p19にあるとおり、河川愛護月間等の河川美化運動を通して、流域住民にゴミの持ち帰りやマナーの啓発を行うとともに、河川愛護意識を高めるよう活動を推進していきます。 |
| 10 | 春は菜の花が咲き夏は川遊びができる川に回復してほしい。 | 水量が豊かで多種多様な生物が生息でき、地域の人々に親しまれる河川空間の確保を目指して参ります。 |
| 11 | 国東半島を旅した際、山国川のようにすを見て、深い感銘を受けた。ゆったりと蛇行して流れ、護岸はのんびりとしたくさはらのある川原、ああ、これが日本人の原風景かなと思った。一級河川空堀川も残堀川も、下流にみられるような川幅や水量がもともとないことはわかるが、それにしても残堀川の水無し状態は目にあまるものがある。 武蔵村山市内や、特に国営昭和記念公園などは、梅雨時とか台風の時期などを除くとほとんど水がなく、「親水公園」が本来にぎわうはずである夏の時期には、河原は草ぼうぼうになり、野原と見違ふほどである。 川に水があればいく分でもヒートアイランド化の進行を穏やかにすることができるので、川に水をたたえておくような整備を早急にして欲しい。全長14kmに早く粘土層貼りつけを進めることを希望する。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。 |

残堀川河川整備計画縦覧において提出された意見書への対応(基本的な考え方)

全体に係るもの

| 整理番号 | 意見 | 基本的な考え方 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12 | 沿線自治体調整して、公共施設や大型事業所の処理水、雨水を下水道へではなく残堀川へ流すようにする。水道事業の歳入をはかため、武蔵村山市でも数年前から、大型規模事業所からの下水道料金をあてにするようになり、川への放流が極端に減った。「川に水がある」ことの重要性を再認識し、処理水を川へ導くようにすること。 武蔵村山市内、昭和記念公園を主眼におき、下水処理場から導水して、残堀川の水を確保することはできないか。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |
| 13 | 緑陰が気温低下に寄与するため、川沿いに木を植え、護岸はコンクリートではなく蛇籠や草を植え付けて、自然の保水力を確保して欲しい。 | コンクリートブロック護岸を直ちに作り変えることは困難ですが、改修に当たっては地域の人々に親しまれる河川空間の確保を目指して参ります。 |
| 14 | もともと水の無かった川に水を流す必要は無いと思う。 | 瀬切れは、河川環境、維持管理の面から好ましい状況ではありません。本計画では水量の確保を大きな目標として作成しています。 |
| 15 | 健康維持のためのウォーキングに夜も川沿いの緑道を歩く者が多くいる。道は交通量の多い主要道と交差するところも多く暗いところを車をさけて横断しているが、橋下を通れるようにして欲しい。 | p15にあるとおり、管理用通路の通行機能の向上を目指して、今後、各管理者等と協議して参ります。 |
| 16 | 残堀川の水質向上を進めるには「狭山丘陵からの溪水」の役割を重視する必要がある。狭山丘陵の保水能力の減退によって水量が減少し清流を注ぐ役割を果たせていない。都の公園である狭山丘陵の開発事業と併せて残堀川の再生を考えるべき。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |
| 17 | 残堀川は雨水放水路であり、自然の川ではない問題点を理解していない。現状では生き物が身を隠す「瀬」や「淵」もなく直線的に水が流れ少し大きな水が流れ大きな雨が降れば川の生き物を消失してしまう。よって流域内に多くの雨水浸透升を設置し、雨水が一度に流れ込まない対策をとるべき。 残堀川の脇には親水緑地や公園があるがこの中にも雨水浸透升がないのは残念である。三ツ藤公園緑地は河川工事の一部であり、雨水浸透升を設置しゆっくりと雨水が川に流れ込む仕組みを作るべき。緑地だけでなく、伊奈平橋付近の畑にも協力を依頼し、ゆっくりと水を流せば水質も良くなるはずである。また伊奈平工場地区の企業にも敷地内に雨水浸透柵を作るよう協力を依頼し、護岸に顔を出している土管に接続させてゆっくりと雨水を流せば、水質もよくなるはずである。 | p20にあるとおり、総合的な治水対策として「残堀川流域整備計画」を定め、都と流域の市町により宅地化等の開発の際には、雨水流出抑制施設整備の指導をしています。本計画策定後も、この取り組みは続けてまいります。さらに、原案には記載しませんでした。維持流量の確保として、雨水浸透施設の普及により地下水涵養を行うことを追記します。 |
| 18 | 伏流対策工事は緊急の課題であるが、地元としては初めからわかっていたことがなぜ行われたのか、税金の無駄使いの感じがする。川底工事のみでなく雨水浸透升工事も不可欠である。 | 不透水層の設置については、残堀川や都内他河川での実績もあり、効果は高いと考えております。瀬切れは、下水道の普及など複合的な要因により徐々に生じたものであり、予測は困難でした。 |
| 19 | 「残堀川流域整備計画」に基づき雨水流出抑制対策としての貯留・浸透施設の設置について...とあるが本当であるうか。自治体等への協力依頼の計画と成果を知りたい。 | p20にあるとおり、総合的な治水対策として「残堀川流域整備計画」を定め、都と流域の市町により宅地化等の開発の際には、雨水流出抑制施設整備の指導をしています。既に目標値の8割を超える実績をあげていることを追記します。 |
| 20 | 「水涸れ」は自然現象で起きたものではなく以前の河床切り下げ工事が原因と考えている。小金井市を始め、雨水の地下浸透対策に助成金まで付けていることを考えれば、工事をしてまで、わざわざ不透水層を張り付けなくても、天然の地下水源を涵養していると十分考えられないか？そのうちに有機物が溜れば、ヘドロ化して、流れが出来ると思う。その時にはまた、洪水対策として掘り下げる事となる。 また、粘土層を張り付ける工事は、自然の水の力にはもろいと思う。東村山浄水場付近の空堀川で起きた様に、洪水時に全面流されてしまっは、元も子もない。残堀川で同様の事がおこれば、かえって、富士見町のスクリーンなどへの負荷が大きくなりかねない。 | 不透水層の設置については、残堀川や都内他河川での実績もあり、効果は高いと考えております。瀬切れは、河川環境、維持管理の面から好ましい状況ではありません。本計画では水量の確保を大きな目標として作成しています。 |
| 21 | 昭和記念公園内に残堀川がある。5月頃になると小川では子供が水遊びをしているが、残堀川だけ水がない。3面コンクリート張り川に近づけないように転落防止柵が設置されている。公園内は自然とふれあえるようにできているのに、なぜ残堀川だけ違うのか。自然と触れあうことができなく残念である。 | p10にあるとおり、昭和記念公園には、一部の区間で緩傾斜護岸により水辺に近づける工夫がされています。しかしながら、傾斜の急な護岸の部分は高低差があるため柵を付けざるをえません。ご理解ください。 |
| 22 | 整備計画案の鳥類等、生物確認状況の確認種は少なく、さらに正確な調査を定期的かつ継続して行う必要性を感じる。 | p11に確認状況を記載していますが、関係機関の協力をえながら、今後も調査を進めてまいります。 |
| 23 | 残堀川に対する流域住民の関心を高めるために、多摩川水系河川整備計画とまではいなくとも、市民アクション・ふれあい巡視のような催しを行うべき。 | p19にあるとおり、情報意見の交換、河川愛護活動への支援をおして、市民との良好なパートナーシップを築いて参ります。 |
| 24 | 魚類が生息しやすい護岸づくりと釣り人や市民が安心して楽しめる河川整備を計画し、実行して欲しい。 | 水量が豊かで多種多様な生物が生息でき、地域の人々に親しまれる河川空間の確保を目指して参ります。 |

残堀川河川整備計画縦覧において提出された意見書への対応(基本的な考え方)

個別地区等に係るもの

| 整理番号 | 意見 | 基本的な考え方 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 25 | 治水の整備において二層河川が計画されているが大変興味深く思う。 | 本計画では、二層河川の整備を変更し、調節池を設置することとしています。 |
| 26 | 玉川上水の助水として利用された旧残堀川の内容を忘れてはならない。いま日産自動車の雨水を集めて、ほんのわずかの水量だが流れている。ここは残堀川に入れない子供たちの水遊び場にもなっています。平成13、14年には、小学校のプールから救出したヤゴを放流し、トンボの里を復活した。 旧残堀川の改修にあたっては、歴史的遺産としての観点から関東ローマ層の観察場所として こともたちの水遊びの場として 残り少ない水辺の重要性の観点から、保全、整備をお願いしたい。 旧残堀川は現状ゴミが捨てられ、土手が崩れているが、子供達の水遊び場、環境学習の場には適している。出入り口の階段と水辺の整備で十分かと思う。 | 旧残堀川の改修については、その内容を本計画に含めることはできませんが、貴重な意見として参考とさせていただきます。 |
| 27 | 上流流域に部分的・散在的に残っている旧残堀川を「玉川上水歴史環境保全地域」に準ずる土木遺構として保存して欲しい。 旧日産村山工場の排水路とされていた部分は水辺空間として貴重な存在になっているため「橋」の両脇の崩落部分の改修をしていただきたい(極めて危険な状況にある)。 旧日産村山工場の旧残堀川は埋め立てられてしまったが同工場撤去で新たな利用が検討されている現在、雨水の排水・水辺環境の創出によるまちづくりのため、旧残堀川の復元を計画に組み入れて欲しい。 | 旧残堀川の改修については、その内容を本計画に含めることはできませんが、貴重な意見として参考とさせていただきます。 |
| 28 | 立川市内の残堀川には「親水施設」が全く無いため武蔵村山市、瑞穂町区域にあるような階段型護岸による親水護岸を下砂橋下流左岸付近に設置して欲しい。 鷹の橋付近にも階段型護岸または親水階段等の設置をしてほしい。 | p15に記載したとおり、護岸整備を行う区間では緩傾斜護岸・階段護岸など水辺へ近づける整備を実施します。整備済みの区間においても、可能な範囲で、管理用通路の通行期の向上、緩傾斜護岸・階段護岸の整備を目指していきます。ご意見の地点については、その可能性について、今後検討して参ります。 |
| 29 | 河床掘削で水深が深くなる区間は、水面との距離が遠くなり心理的にも疎外感を持つため、特に親水化に配慮した護岸・設備を要望する。 松風橋下流右岸地先から多摩川までの間の遊歩道の整備を要望する。 | p15に記載したとおり、護岸整備を行う区間では緩傾斜護岸・階段護岸など水辺へ近づける整備を実施します。整備済みの区間においても、可能な範囲で、管理用通路の通行期の向上、緩傾斜護岸・階段護岸の整備を目指していきます。ご意見の地点については、その可能性について、今後検討して参ります。 |
| 30 | 原案により残堀川はかなりの部分が人工的に造られた川であることを知った。それであれば環境の保全というより、むしろ自然を作り出すような工事を行って貰えればと思う。 立川市民にとって昭和記念公園は身近にある憩いの場であるため公園の施設と一体となった緑と水の豊かな川として欲しい。 公園出口から滝口間を二層化するとのことだが洪水に対して安全でありつつ表層の川の自然への配慮がより高まることを期待する。 | p15に記載したとおり、護岸整備を行う区間では緩傾斜護岸・階段護岸など水辺へ近づける整備を実施します。整備済みの区間においても、可能な範囲で、管理用通路の通行期の向上、緩傾斜護岸・階段護岸の整備を目指していきます。ご意見の地点については、その可能性について、今後検討して参ります。 |
| 31 | 滝口で魚類の連続性が絶たれていると書かれているが下層のトンネル工事の際は是非魚などが上流に自由に移動できるよう工夫をして欲しい。 川の脇を散歩するのが嬉しくなるような、そんな計画ができることを願う。 | 本計画では、二層河川の整備を変更し、調節池を設置することとしています。 |
| 32 | 残堀川遊歩道利用者の安全確保のため、横断する新おちらし橋、玉川上水との交差点、五日市街道残堀橋への横断歩道と信号機を設置して欲しい。また、立川市立第五中学校付近で川原に降りられる階段(施錠できる)を設置して欲しい。 遊歩道の所々に花壇などを設置しより愛着のもてる遊歩道にして欲しい。 武蔵砂川駅や昭和記念公園への行き方、近くのバス乗り場の案内等の案内板を設置して欲しい。 | p15にあるとおり、管理用通路の通行機能の向上を目指して、今後、各管理者等と協議して参ります。案内板については貴重な意見として参考させていただきます。 |
| 33 | 新残堀橋の下流にある旧残堀川を保存整備して欲しい。 | 旧残堀川の改修については、その内容を本計画に含めることはできませんが、貴重な意見として参考とさせていただきます。 |
| 34 | 新残堀橋から滝口までは「瀬切れ」が生じている。新たな水源の確保が必要である。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |
| 35 | 残堀川に清流を復活させてほしい。通年で川に水がないことはあまりにも不自然である。親水公園もありながら水無川とは。水量不足はかつての河川工事の影響でもあり、早急に清流を取り戻すべきと認識してほしい。 昭和記念公園内の残堀川も水がなく、無残な日々が多い。 | p15にあるとおり、維持流量の確保については、「瀬切れ」が起こって水量が枯渇する区間において、河床への不透水層の設置を行います。地下水涵養の促進、下流区間の比較的水量が豊富な箇所に着目した河川水の循環利用なども検討して参ります。さらに、原案には記載しませんでした。新たな水源を模索することを追記します。常に水の流れる残堀川を目指して努力して参ります。 |

残堀川河川整備計画縦覧において提出された意見書への対応(基本的な考え方)

個別地区等に係るもの

| 整理番号 | 意見 | 基本的な考え方 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 36 | <p>武蔵村山市境から昭和記念公園玉川上水口までの間に親水公園を作り川への親しみと憩いの場を提供して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新残堀橋から新おちらし橋の間に1箇所(川原に降りれる階段、ベンチ、トイレと水飲み場) ・並木橋から松風橋の間に1箇所(ベンチ、トイレと水飲み場) <p>新おちらし橋から玉川上水までの右岸側の遊歩道を通行できるようにして欲しい。 多摩川まで続く遊歩道、昭和記念公園内は入場しないと通行できないのでフェンス沿いに遊歩道を設置して欲しい。</p> | <p>p15に記載したとおり、河川改修に伴って生じた旧河川敷や河川沿いの緑地について、広場や通路としての利用を進めます。整備済みの区間においても、可能な範囲で、管理用通路の通行機能の向上、緩傾斜護岸・階段護岸の整備を目指していきます。ご意見の地点については、その可能性について、今後検討して参ります。</p> |
| 37 | <p>上流には幸いにも川原があるため、フリーマーケット、川祭りなどのイベント開催に利用できるように構造と管理体制をとって欲しい。</p> | <p>p15にあるとおり、上流部は緩傾斜型護岸整備を行いますので、イベント等の開催は可能と考えます。</p> |
| 38 | <p>旧日産跡地に端を築する残堀川に注ぐ川も降雨時しか水が流れないが、宗教団体が土地購入することになっているので、大きな雨水浸透施設を建設して長期にゆっくりと雨水を流入する小川となるように協力依頼して欲しい。</p> | <p>旧残堀川の改修については、その内容を本計画に含めることはできませんが、貴重な意見として参考とさせていただきます。</p> |
| 39 | <p>滝口から多摩川合流点までを親水性の高い空間にするには、昭和用水流入地点から中央線鉄橋下流までの区間が最適という印象を受ける。下水処理水導入ではなく、昭和用水の年間通水と併せて検討すべきと思う。また、ここから下流はコンクリートで固められ直線的な流れになっていてまったくおもしろくない。小さな蛇行や淵を作ることによって、生き物にとって良い環境になると思う。</p> | <p>滝口から多摩川までの区間は、整備を実施する区間とはしていません。比較的水量が豊富なため、適正な維持管理を図っていく箇所と考えています。</p> |
| 40 | <p>狭山池に隣接した部分は、この20年間にかなりの回数床下浸水の被害を受けている。原因は、多量の雨水が集中した状況で、狭山池と汚水下水道が混入するために生じる。したがって、雨水用の側路を造り、池を宇廻る形で残堀川に流さない限り解決しないとおもわれるので、池の影観を保持し、併せて付近住民を浸水から守るため、雨水を狭山池に流入させない施策を是非推めて欲しい。</p> | <p>狭山池付近の水路改修については、その内容を本計画に含めることはできませんが、貴重な意見として参考とさせていただきます。</p> |
| 41 | <p>残堀川河口付近の土地の調査をお願いいたします。</p> | <p>現在のところ、事実関係が把握できません。</p> |